PowerBullet 二回目発表

発表者
04T225 北中貴之（サンプル作成）
04T226 蔵増宏彦（サンプル作成）
04T239 末吉隼人（文章、サンプル作成）

ページについて

前回のプレゼンテーションではまだ調べてなかった
ページの設定について説明したいと思います

ページを設定する利点等

ページを設定する利点はいくつかあります。
まず PowerBullet は1ページのオブジェクトが増えると
出力がうまくいかずに文字化けしたソースが表示されてしまいます。
ゆえに複数のページに分けることでその現象を防ぐ事ができます。
また SWF ファイルを表示したときの画面は同じであっても
製作画面はページごとに製作した場合と1ページに詰め込んだ場合
やはりページを分けたほうがすっきりして、製作、修復が容易になる。

そのほかにもページを分けることでスライド風にでき
ページごとに流す効果音を設定できます。
よって紙芝居のような物語を作るときには便利です

ページの追加や編集

下図の緑色の丸で囲んでいる場所で
編集するページの移動

赤い丸で囲んでいる場所の
＋がついている方が
ページの追加、
ページに斜線が入っているほうが
ページの削除です。

水色の丸の囲んでいる場所で
編集しているページの順番を変更できます



ページの効果や時間の設定

右図1の挿入をクリックして
ページ入／出のトランジションを選択します
すると図2のようなウィンドウがでます



図1

入り口というのは開始のことで
ページ表示の時間と効果をかえれて
出口というのはページが次のページにいく事で
これでページのめくり方などを変えれます
この時間を長くすればゆっくりとページが
移り変わります

またファイル→出力設定で
次のページへ移る時間や
手動で移り変わらせるよう設定できます

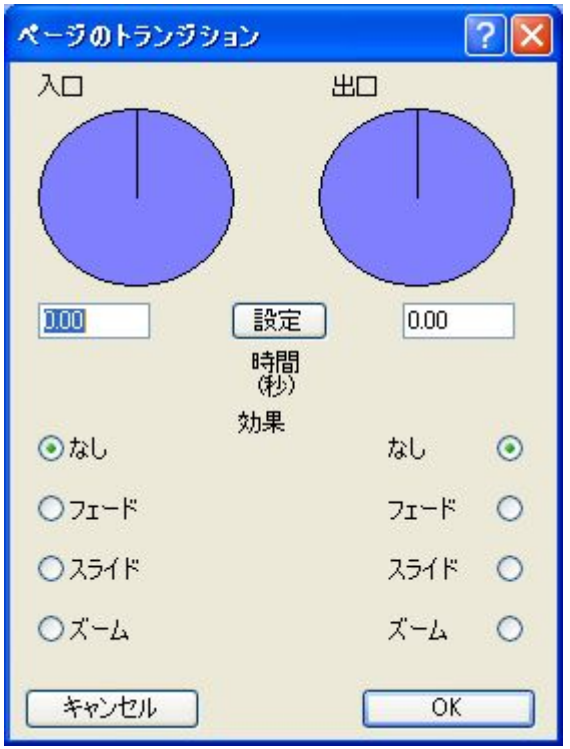


図2

前回の訂正

前回特定の効果を選択すると
swf ファイルがうまく表示されないとしたが
そうではなく、おそらく1ページのオブジェクトが
ある容量（正確にはわからないが
目安としてオブジェクト８～１０ぐらいが限界）を超えると
うまく出力されないようです

ので細かくページを設定することをお勧めします